

令和5年度

第3回 地域公共交通に係る行政連絡会 (2024/3/6)

Google マップ[®]での情報掲載に向けて - GTFS-JPデータ整備後のステップ -

株式会社サンビーム 地域計画部

近藤 孝則

HP: <https://sun-beam.co.jp/>

※1 本資料では、国土交通省「標準的なバス情報フォーマット」の静的情報の形式に基づいて作成されたデータのことを、「GTFS-JPデータ」と呼称します。

※2 本資料の情報掲載フローや画面表示等は2024年3月初旬現在のものです。

自己紹介・ご説明経緯

●自己紹介

近藤 孝則 (こんどう たかのり)

株式会社サンビーム 地域計画部
(2021年3月～ 現職)

○交通計画分野を主の事業とする
建設コンサル

○地域計画部：公共交通、交通ま
ちづくり、交通バリアフリー等
に係る調査検討を担当

●本日のご説明経緯

⇒大島バスのGTFS-JPデータ整備(都業務)

- 東京都交通企画課「大島町における地域公共交通調査業務委託」で大島バスのGTFS-JPデータ整備・活用を支援
- Google マップでの情報掲載、ODPT(公共交通オープンデータセンター)でのオープンデータ化等を実施

大島バスの経路・時刻が、スマホで検索できます！
(Google マップ等の経路検索サービスに対応)



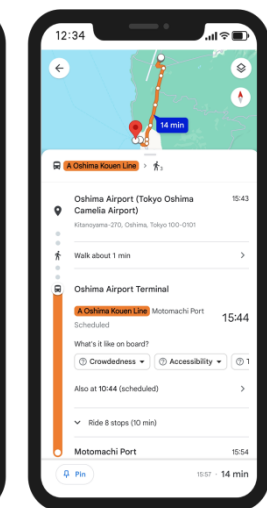
地図データ ©2023



地図データ ©2023



地図データ ©2023



Map data ©2023

出発地と目的地から、バス路線を含めて
最適なルート案内します。
出発時間・到着時間の指定も可能です。

乗換ルートも
表示できます。

多言語による
検索が可能です。

※ Google マップは Google LLC の商標です。

出典：X 大島バス【公式】ポスト

- ① Google マップ への掲載意義
- ② Google マップ への情報掲載の流れ（掲載まで、掲載後）
- ③ 【補足】 GTFS-JPデータ整備の意義

○ 具体の記入事項や操作方法 等については、以下ウェブサイトの説明やマニュアル等を合わせてご参照ください。

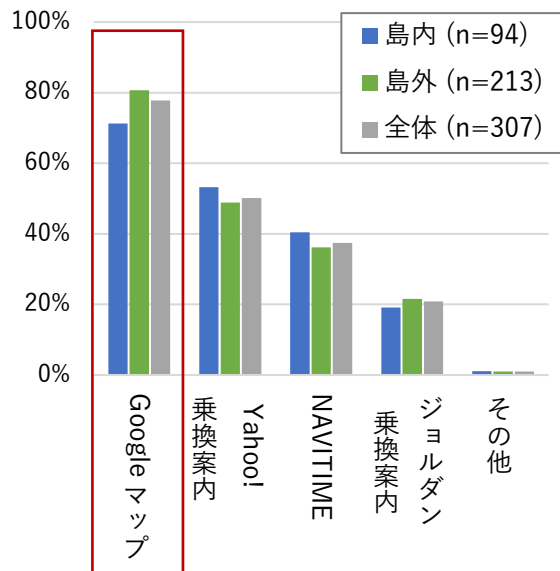
- ・ Google 乗換案内パートナーヘルプ
【URL】 <https://support.google.com/transitpartners/?hl=ja>
- ・ GTFS・標準的なバス情報フォーマットのページ：
標準的なバス情報フォーマット コンテンツプロバイダへのデータ提供
【URL】 <https://www.gtfs.jp/blog/datarelese/>

Google マップへの掲載意義

①利用シェアの高さ

- 来訪者(非居住者)を中心とした利用率の高さ
- 大島でも利用者が最多(来島者・島民)

大島での移動を調べるために利用したことがある経路検索サービス



出典：大島の公共交通に関するアンケート(冒頭業務内で実施したアンケート)

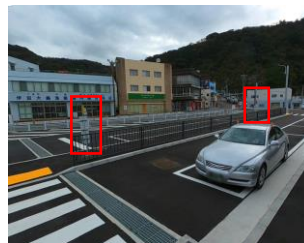
②無償で利用できるバス情報の周知手段

- 無償で掲載可能
- バス路線・バス停を分かりやすく周知する有効な手段

発地⇒着地で検索ピンポイントのバス停表示(≠バス停間)



相乗効果
現地状況の確認



出典：Google マップ 地図データ©2024

③自身での情報管理、追加情報の掲載が可能

- 情報更新等について、自身で管理可能
- 必要に応じた追加情報を簡単に掲載

例)臨時バス停の設置時に追加情報を掲載

この為、**「波浮港」バス停は、通行止めの間ご利用いただけません。**
ご利用のお客様には、大変ご不便をおかけいたしますが、下記の臨時バス停をご利用ください。

臨時バス停

位置：波浮港入口(水産試験場の坂道下)
運行時刻：「波浮港」バス停と同時刻

運行情報

▲ 停留場の変更
波浮港バス停の利用休止(臨時バス停設置)について
波浮港バス停の付近にて、家屋の倒壊が発生し、当面の間 バス停へ続く都道が一部通行止めとなります。この為、波浮港バス停は、通行止めの間ご利用いただけません。ご利用のお客様には、大変ご不便をおかけいたしますが、下記の臨時バス停をご利用ください。
位置：波浮港入口(水産試験場の坂道下) ※マップに反映準備中です。
運行時刻：「波浮港」バス停と同時刻
有効 (2023/12/21~2024/02/02)
oshima-bus.com

出典：大島バスウェブサイト、Google マップ 地図データ©2024 3

Google マップ への情報掲載の流れ

●Google マップ での情報掲載に係る留意点

○あくまで、海外民間企業の1サービスへの情報掲載

⇒Google 独自の掲載基準：希望通りに情報掲載出来るとは限らない

※ただし、事情を鑑みた調整がなされる場合もあるため、交渉が重要

○オープンデータ化 ≠ 自動的に Google マップ に情報反映

⇒Google マップ への情報掲載には、別個での情報提供や審査が必要（後述）

○データ更新は完全に自己管理（意義の裏返し）

⇒更新時には審査等なし、更新漏れやデータの誤りに要注意

Google マップ への情報掲載の流れ

●情報掲載まで

※期間は大島バスの例であり、運行内容や時期、データ作成状況等で大きく変動の可能性あり

①パートナー登録

※大島バスは完了済
(一般的に1週間程度)

- 登録申込・契約締結
- + 代理人登録 (委託時)

②データ登録・掲載内容の調整

1週間

- 管理画面でのデータ登録
- プレビュー画面の作成依頼
- 提供内容の調整

③品質審査に向けた準備

1週間半

- データ内容やエラーのチェック・修正

④審査対応・広報準備

2週間

- 審査移行手続き
- (審査後)審査指摘事項への対応
- 広報資料関係の対応

公開

●情報掲載後

○日常的な情報管理

1日程度

- ・掲載情報のチェック
- ・追加案内(アラート)の登録 (必要な場合)

○ダイヤ改正等への対応

数日

- ・改正データのアップロード・チェック

情報掲載までの流れ／事前情報

●掲載前に確認すべきこと

○登録要件に適合しているか

- ・公共交通機関であり、一般客が利用可能【＝会員制ではない】
- ・固定の時刻表、または定期的な運行スケジュールが存在【＝定時定路線、運行日固定】
- ・乗車券が車内や駅等、乗車時に購入可能【＝事前予約が必須ではない】

⇒一般の路線バスのような運行形態が基本的には条件※

※条件付きでの掲載が可能な場合もあるので、調整の価値あり
大島バスも、運行日の状況から現状条件付き掲載

●予め整理しておくべきこと

○運行内容の特殊な点(情報掲載の懸念点)を明確化

- ・特殊な点の内容 例)出帆港別の便がある
- ・どのように案内(掲載)したいか
例)運行日の設定ごとに情報を出したい

⇒Google担当と予め調整し、審査に申し送りすることで、審査後の対応(修正)の手間を軽減

cf. 大島バスのダイヤ

① 大島公園ライン

■元町港→岡田港・大島公園 行								元町港→岡田港 おとほ370円 元町港→大島公園 おとほ570円	
便	① 元町港 発	⑥ 富士資料館 入口	⑨ 大島空港 ターミナル	⑩ ふるさと 体験館入口	⑭ 岡田 郵便局前	⑮ 岡田港	⑳ 橋 トンネル	㉑ 大島 公園港	運行日 (R5.10/2～R6.2/2)
1	8:00	8:06	-	8:09	8:12	8:17	8:26	8:30	毎日
2	9:00	9:06	-	9:09	9:12	9:17	9:26	9:30	元町港出帆の日
	9:30	9:36	-	9:39	9:42	9:47	9:56	10:00	岡田港出帆の日
3	10:40	10:46	-	10:49	10:52	10:57	11:06	11:10	岡田港出帆の日
	11:00	11:06	11:10	11:13	11:16	11:21	11:30	11:34	平日で元町港出帆の日※ 土日祝で元町港出帆の日※

資料：大島バス 路線バス時刻表 に加筆

情報掲載までの流れ／事前情報

●掲載内容の基本的な考え方

○利用者が、公式情報や運行実態（現地の案内）との違いに戸惑うことがない情報（データ）であるか

⇒公式情報や現地案内に、表記・情報を合わせる事が原則※

例)

- ・ 停留所・標柱(バス停ポール)
⇒ 名称表記の整合性、標柱単位の位置の厳密性【→5m以内】
- ・ 系統・路線（表記・ラインカラー）、行先（終点・経由地）
⇒ 実際の案内との整合性



標柱位置に
ほぼ一致

※バスマップの表記

A	大島公園ライン
B	波浮港ライン
C	三原山ライン
D	レインボーライン

A	大島公園ライン	岡田港経由大島公園
B	波浮港ライン	波浮港経由大島町陸上競技...
C	三原山ライン	三原山頂口
D	レインボーライン	三原山頂口

カラーや
表記が一致

資料：大島バス 島めぐりマップ
Google マップ 地図データ©2024、画像 ©2024 Google に加筆

情報掲載までの流れ／①パートナー登録

●登録申込・契約締結

※管理用の Google アカウントは予め取得しておく

- ・フォームから必要事項を記入し申込 https://support.google.com/transitpartners/contact/agency_participate
- ・申込後、運行内容等について、担当から確認連絡が来る場合有
⇒運行内容の疑義が確認される。p6の「運行内容の特殊な点」を問われる場合も多いため、申込前に予め整理しておくことを推奨
- ・メールにより契約締結
⇒日本語メール(契約関係情報の提供依頼)、**英語メール**(契約書への同意)

●代理人登録（情報掲載を委託する場合）

- ・代理人(委託事業者)との関係性を保証するメールを送付
⇒データ提供・管理を委託している旨を明記し、データ所有者の公式メールアドレスから送付
(自治体： ～～@city.～～.lg.jp 等)

◎データの所有権について、予め整理しておくことが必要

⇒データ所有者が管理を行うのが基本、GTFS-JPデータ作成時点で検討しておくことが望ましい
(データに記載する事業者情報とも関係※)

※参照：国土交通省「静的バス情報フォーマット(GTFS-JP)仕様書 [第3版] 」 p11～12

情報掲載までの流れ／②データ登録・掲載内容の調整

①管理画面でのデータ登録、プレビュー画面の作成依頼

○Google マップでの掲載イメージを確認するための準備

- ・管理画面(パートナーダッシュボード)で、GTFS-JPデータをアップロード
⇒約30分後以降に確認し、登録画面のStatusが”Accepted”であれば登録完了
- ・Google担当へ「**限定公開プレビュー**」の構築を**依頼**
(限定公開でGoogle マップの掲載イメージを確認する仕組み)
⇒数日～1週間程度でプレビューが完成

◎データをアップしても、構築依頼がないとプレビューが作成されないため注意

②提供内容の調整

○運行内容の特殊な点(情報掲載の懸念点)をクリアに

- ・ここまでに調整しきれていないものは、この段階でクリアに
⇒データ確認や審査対応の手間(手戻り)を軽減

※大島バスでは、この段階で調整(交渉)のメールを5往復やり取り

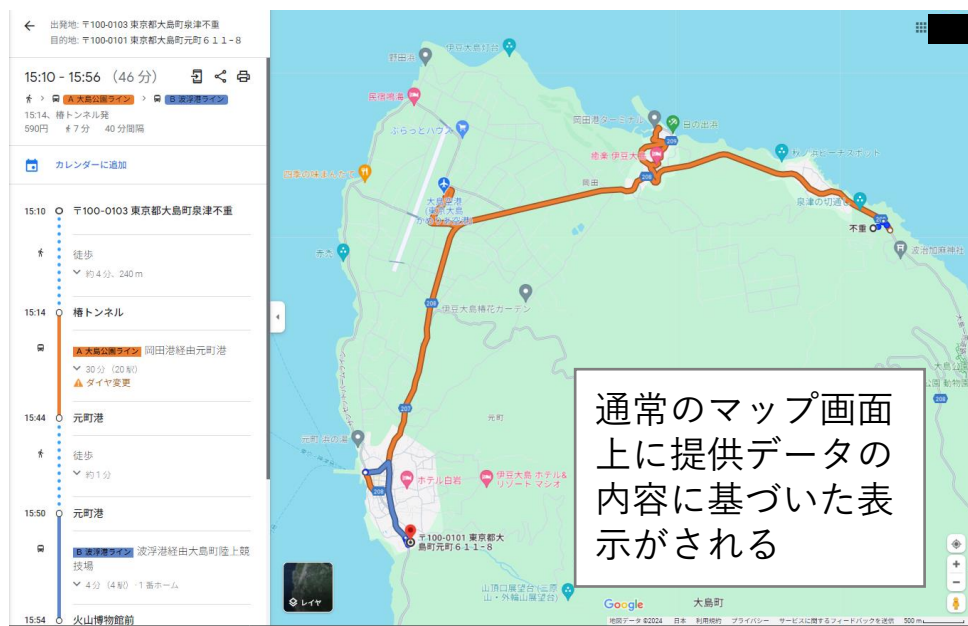
情報掲載までの流れ／③品質審査に向けた準備

●データ内容やエラーのチェック・修正

○掲載にあたり、「品質審査」によりデータ内容の細かなチェックが実施される
⇒マップ画面やチェック画面(検証レポート)で、データの誤りや実態との整合を確認

①マップ画面 (通常の Google マップ)

⇒登録に用いたアカウントでログインし、Google マップを確認すると、情報掲載された際のイメージが見られる (※限定公開状態)



②チェック画面 (検証レポート)

⇒データの検証結果やデータ内容が確認可能な管理画面の「Validation Report」から遷移

GTFS Validation Report

Overview Errors Changes Stops Calendar Quizzes Search Download GTFS

Overview

Counts		Service Dates		Feed Info		
GTFS Type	Count	Start	End	Name	Value	
Agencies	1	First / Last Service	2024-02-03	2024-03-31	Publisher name	大島市公共交通株式会社
Routes	23	Majority of Service	2024-02-03	2024-03-31	Language	ja
Trips	187	Service in feed	2024-02-03	2024-03-31	Start date	2024-02-03
Stops	116			End date	2024-03-31	
Stations	0			Feed version	2024/02/03修正-再入る化Ver2.0e	
Entrances	0					
Generic nodes	0					
Boarding areas	0					
Pathways	0					
Levels	0					
Shapes	32					
Transfers	2					
Service Periods	20					
Fare Attributes	60					
Fare Rules	4446					
Vehicle Categories	0					
Vehicle Amenities	0					

Agencies

List the agency entries from agency.txt.

ID	Name	Phone Number	Timezone	Language	Routes	First Service	Last Service	Majority Start	Majority End
1010001131230	agency overview	大島/江	04992-2-1822	Asia/Tokyo	Route	2024-02-03	2024-03-31	2024-02-03	2024-03-31

Routes

List the route entries from routes.txt.

Short Name	Long Name	Vehicle Type	Stops	Frequency-based trips	Trips by Direction
	A 大島山線ライン (A Ogasawara Koum Line)	Bus	101210 , 101214 , 102200 , 102210 , 102214 , 102220 , 102224 , 102274	0%	大島山線 大島山線
	B 横浮線ライン (B Hattsumizu Line)	Bus	201120 , 201124 , 202120 , 202110 , 202124	0%	横浮線 大島市海上バス

情報掲載までの流れ／③品質審査に向けた準備

●データ内容やエラーのチェック・修正

<チェックの視点>

①マップ画面に適切な表示が出ているか (現地等で利用者が見て迷わない表示か?)

- ・ Google マップ でルート検索すると、実際に情報掲載(案内)のイメージが見られる
⇒表示内容をチェック
(※限定公開のためログイン必須)

○検索結果の路線・行先(・停留所)、
曜日別の運行便、乗換ルート等

②データチェック結果(検証レポート)を 基にエラー等の確認

- ・ 「Errors」からエラーや警告を確認
⇒必要なデータ修正を行い、再アップ

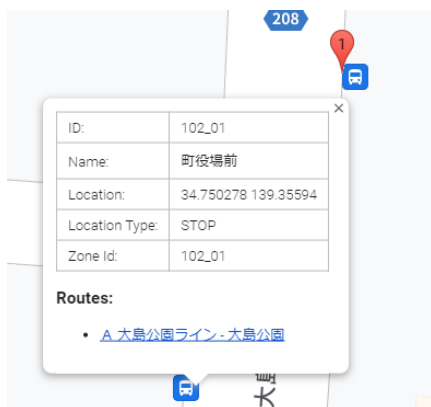
※GTFS-JPデータ作成後、チェックツール
を活用して予め確認・修正をしてあれば、
対応事項はあまり多くはないと思われる

※対応方法の詳細はp2記載のマニュアル等参照

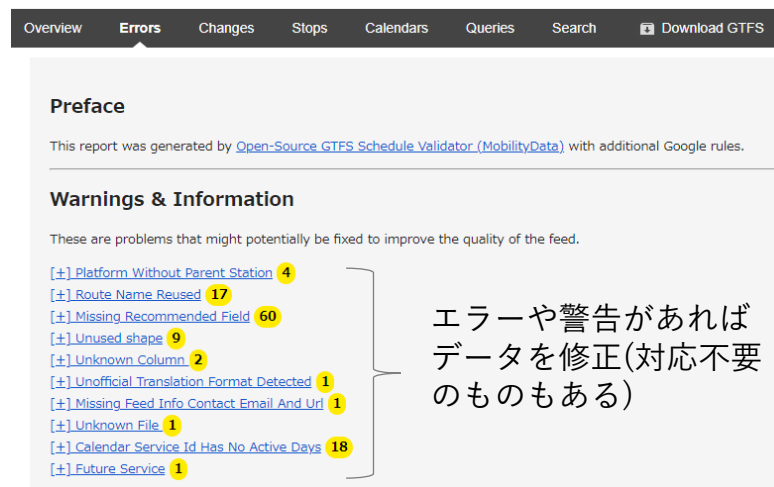
路線・行先、乗換等
⇒マップ画面で確認可



停留所位置
⇒チェック画面で確認
(※マップには未反映)



資料：Google マップ 地図データ©2024 に加筆



資料：GTFS Validation Reportに加筆

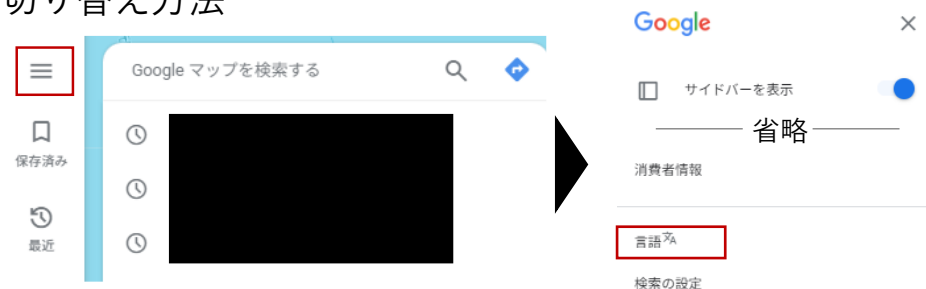
情報掲載までの流れ／③品質審査に向けた準備

●データ内容やエラーのチェック・修正

<注意事項>

- 外国語表記を作成した場合は、表示に誤りがないか要確認
⇒審査の指摘事項の1つ

切り替え方法



- Google マップでは、GTFS-JPの「shape.txt」※がなければ、自動ルーティング結果が表示
(※経路を描画するデータ、作成は任意)

自動ルーティング結果



- ⇒経路地等について誤解を生む可能性もあるため、可能ならばshape.txtを含めて提供することが望ましい

shape.txt 提供後



資料：Google マップ地図データ©2023、地図データ©2024 に加筆

情報掲載までの流れ／④審査対応・広報準備

①審査移行手続き

○専用のフォーム（「公開前チェックリスト」）に、必要事項を記入し提出

- ・特に、「**審査の考慮事項**」「**警告を無視しても構わない理由**」は明確に記載
- ・審査中にデータ差替は出来ないので、確実にチェックをしてから提出

○審査の考慮事項

・公表情報との不整合の理由

⇒不整合箇所が実態に即していることを明記すれば、審査時に考慮あり（※資料を求められる場合あり）

・標柱位置とストリートビューとの不整合箇所

⇒位置はストリートビューでもチェックされる
直近の設置・移設等で、ストリートビューに未反映の場合はその旨伝達

○警告を無視しても構わない理由

・エラー等への対応が不要な理由

⇒GTFS-JPの仕様によるものも多いため、その旨を伝える（※勿論対応すべきエラー等は要解消）

②(審査後)審査指摘事項への対応

- ・修正箇所の指摘（公表情報やデータ仕様への不整合）のほか、事実確認の場合もある
⇒指摘内容に応じて、回答・修正を実施

※p2記載のマニュアルに対応方法の詳しい記載有

情報掲載までの流れ／④審査対応・広報準備

③広報資料関係の対応

○審査終了後、広報資料についても内容のチェック有

⇒**チェックが終わるまで掲載不可** (マップに情報掲載済でも…要注意)

- ・プレスリリースや各種媒体(ウェブサイト、SNS等)で掲載する資料をGoogleに送付
- ・記載内容や権利表記等をはじめとして指摘が入る場合があるため、適切に修正

大島バスでの指摘例)

- ・ Google マップ と表記
↑半角スペース
- ・ 「Google マップは Google LLC の商標です。」を表記
- ・ スクリーンショットを使う場合は、画面下のattribution (例: 地図データ ©2024 等)を含めるか、画像下部等に正しく表記

大島バスの経路・時刻が、スマホで検索できます!
(Google マップ等の経路検索サービスに対応)



出発地と目的地から、バス路線を含めて最適なルートを案内します。
出発時間・到着時間の指定も可能です。

乗換ルートも表示できます。

多言語による検索が可能です。

※ Google マップは Google LLC の商標です。

出典：X 大島バス【公式】ポスト

情報掲載後の流れ／日常的な情報管理

●掲載情報のチェック

○適切に情報掲載されているか確認

- ・ 検索結果が適切か、停留所(バスマーク)の表示が正しい位置か 等を確認

※大島バスでも、停留所の移設後に情報が反映されていなかったケースあり

- ・ 運行内容の変更・データミス等があれば、データを再アップ
⇒更新時は、大きなデータの変更がない場合、1日程度で更新が反映
- ・ 何かおかしいことや不明点が有れば、適宜Googleに問合せ

●追加情報(アラート)の登録 (必要な場合)

○追加での情報掲載が必要な場合には、「アラート」機能で情報を登録

⇒臨時運行の状況(迂回、運休、増発等)、停留所位置の補足、乗継券発行等(内容の制約は特でない)

※条件付掲載の場合など、利用者に必ず周知すべき情報がある場合、審査開始前にアラート登録を求められる場合もあり(大島バスも)

登録可能なアラートの分類

アラートのアイコン	アラートのテキスト
🔴	運休
🔴	大きな遅れ
🟡	一部運休
🟡	迂回運転
🟡	ダイヤ変更
🟡	停留場の変更
📘	増発運転
📘	情報

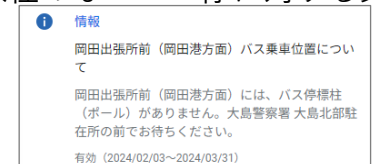
⇒「情報」で様々登録が可能

出典：乗換案内パートナーヘルプ「アラートの分類方法と表示方法」

(審査前追加) 出帆港別の便に対する情報



(後から追加) 標柱のないバス停に対する案内



出典：Google マップ 地図データ©2024 15

情報掲載後の流れ／ダイヤ改正等への対応

●改正データのアップロード・チェック

○ダイヤ改正後のデータをアップし、データ内容を早めにチェック

- ・遅くとも数日前までに管理画面からデータをアップ
⇒早めにアップする分には問題ない：提供開始日(ダイヤ改正日)から適用
(※ただし、データ側の適用開始日、有効期限日の設定ミスには要注意)

・運行内容に大きな変化※がない限り、**審査・チェック等はなし**

⇒1～2日後にそのまま反映されるため、ミスがないか早めに確認

※「審査時に無かった路線が増える」レベルの場合と考慮(大島バスではまだ未該当)
⇒管理画面で”Status”が”Pending”となるので、Google担当者に連絡を取り、指示に従って対応

- ・アラート(前頁参照)も、運行内容が変わった場合は忘れずに修正

◎ダイヤ改正時(=データの有効期限日以降)に適切なデータが登録されていない場合、不適切な表示が出る場合がある

⇒**ダイヤ改正時には、余裕をもって準備を行うことが重要**

補足：GTFS-JPデータ整備の意義

● 「標準的なバス情報フォーマット」について

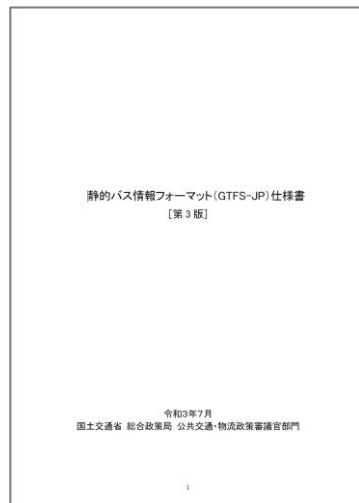
○ ”標準的な” “バス情報フォーマット”

⇒国土交通省が定める、バス事業者と情報利用者との情報受渡しのためのデータ形式
≡バスに関する情報をデータ化する際に取り入れるべき項目の定義

○ GTFS-JPデータ ≠ Google登録用データ

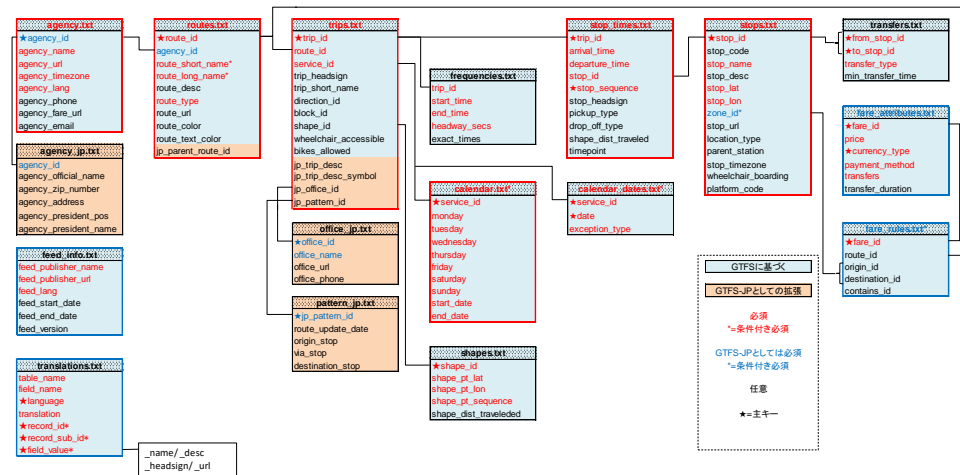
- ・バスの静的情報に関する基礎データとして、多様な活用方法【⇒参考資料】
- ・国が定めており、コンテンツプロバイダーに依存しないデータ
(データ自体はベンダーロックインがかからない)

GTFS-JP 仕様書



データ構成

⇒経路検索だけでなく、バスに関する基礎データとしての活用も視野に、多様な項目(任意項目含)が規定



https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000112.html

出典：国土交通省「静的バス情報フォーマット(GTFS-JP)仕様書 [第3版]」

最後に

- 掲載作業には少し手間がかかるが、Google マップ への掲載による効果を考えると、取組価値は十分にある
- 民間サービスであるため、意向通りの情報掲載ができるとは限らないが、交渉が可能な場合もあるため、利用者の利便性向上を第一に調整いただけるとよい
- 大前提として、GTFS-JPデータは Google 登録用データではなく、バス情報を多様な形で活用するための基礎的なデータと認識頂き、整備を進めていただけるとよい

**参考資料：GTFS-JPデータ整備の意義
(自治体目線で)**

補足：GTFS-JPデータ整備の意義

●多様な用途で活用可能(ワンソース・マルチユース)

○交通計画の基礎データとしての機能

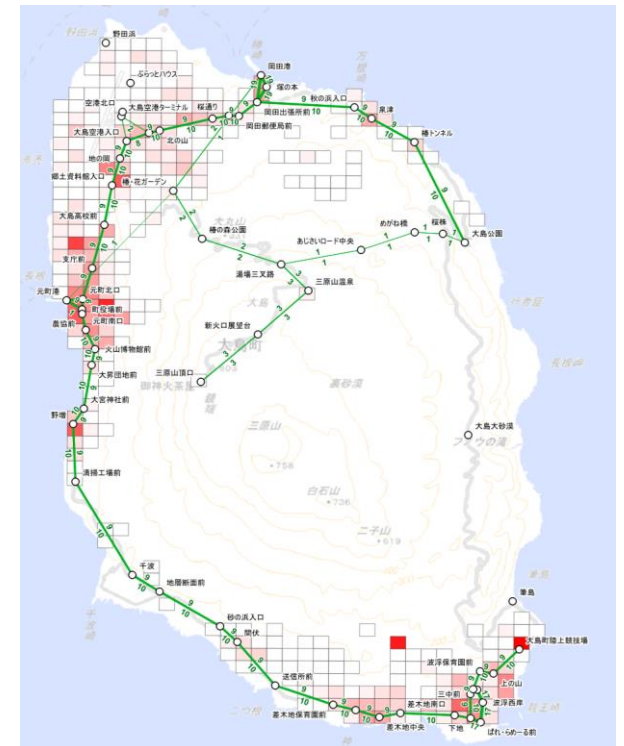
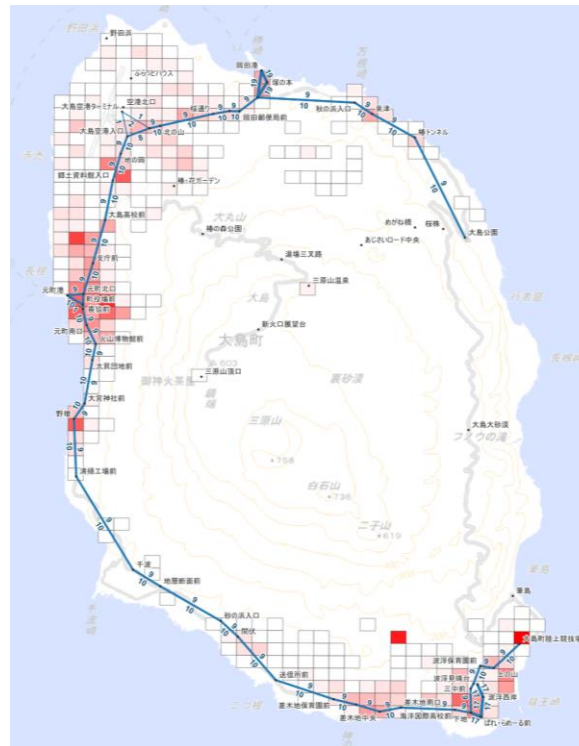
・計画的(継続的)に整備することで、交通計画に活用できる経年的な基礎データになる

⇒非常に詳細なデータを含み、かつ高頻度(ダイヤ改正ごと)で更新されるデータ(現状の)国土数値情報「バスルート」より使い勝手がよい

例) 大島バス運行頻度+メッシュ人口(2時点比較)

- ・便・停留所単位の情報が
あるため、停留所間での
運行頻度を算出可能
- ・QGISでは、プラグイン
(GTFS-GO)を用いて、
簡単に作成可

※図は大島バスの季節ごとのダイヤを
基に疑似的に活用イメージを表
したもの(実際の経年的な増減便の
状況を表したものではない)



データ出典：

背景地図に国土地理院 地理院タイルを利用、
大島旅客自動車株式会社、大島バス GTFS-JP(公共
交通オープンデータセンター提供データを活用)

補足：GTFS-JPデータ整備の意義

●多様な用途で活用可能(ワンソース・マルチユース)

○オープンデータ化と組み合わせた効果の発揮

…GTFS-JPデータ作成 ≠ オープンデータ化、ただしオープンデータ化との相性は良い

・オープンデータ化自体の効果拡大

⇒GTFS-JPのバスデータが既に普及
(=システム等を整備済)しており、
他形式のデータよりも活用しやすい

・バスデータ提供の円滑化

⇒単一の公開先から各事業者等に更新
データの取得依頼が可能

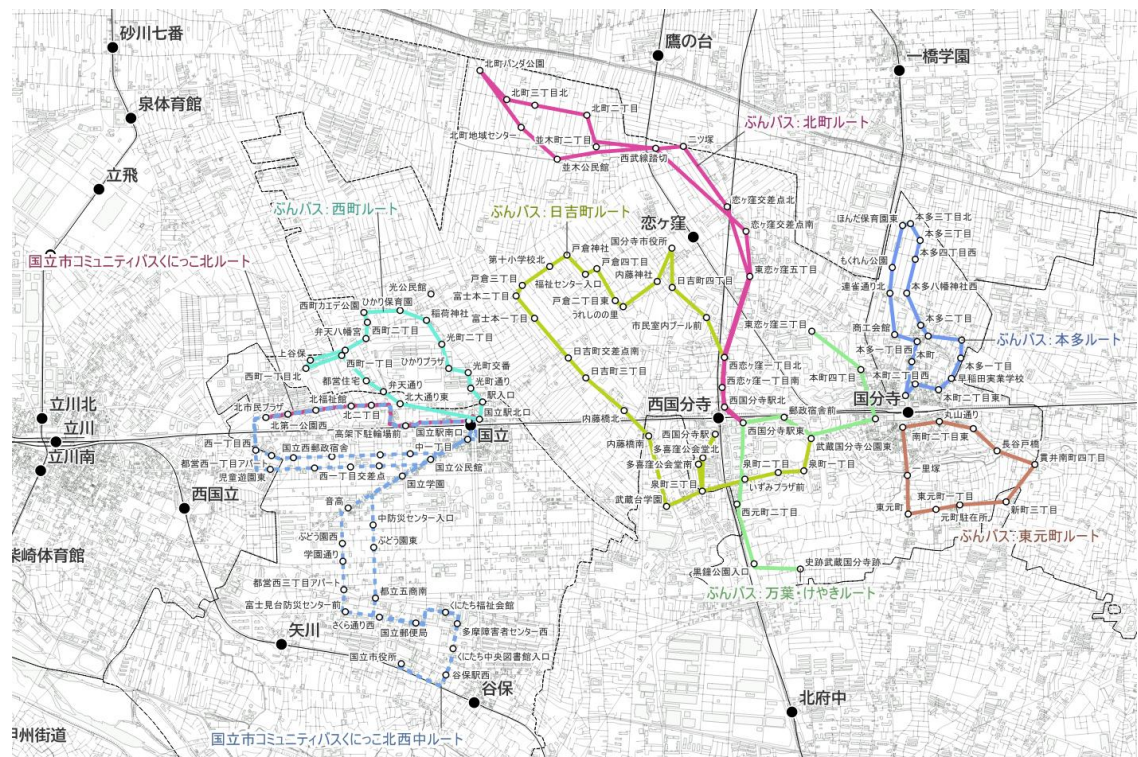
・周知・広報での効果的活用 (自治体間で連携した交通情報)

⇒経路検索への掲載のほか、周辺自治
体のコミバス情報を含めた周知広報
が容易に(右図)

○利用者の認知拡大、利便性が 向上

⇒コミュニティ交通相互で利用
機会増の可能性

例) 国分寺・国立エリア コミバスマップ 【※イメージ】
⇒国分寺市・国立市のODPT提供 GTFS-JPデータを活用



データ出典：国土数値情報（鉄道）、背景地図に国土地理院ベクトルタイルを利用、
国分寺市、東京都国分寺市地域バスふんバス GTFS-JP、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス [表示4.0国際](#)
国立市道路交通課、国立市コミュニティバスくにおこ GTFS-JP、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス [表示4.0国際](#)

補足：GTFS-JPデータ整備の意義

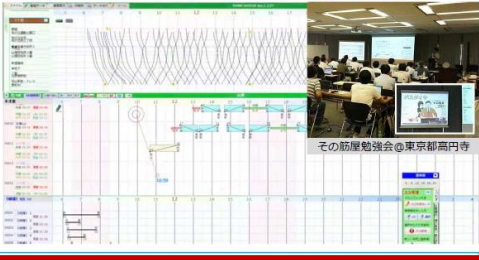
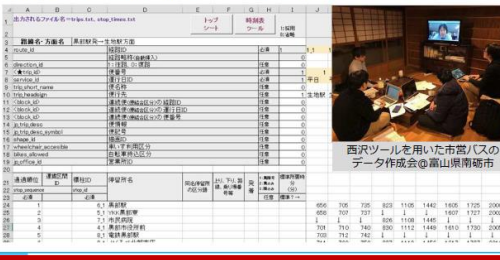
●自主的なデータ整備・提供を可能にする環境の充実

○無償で利用可能な作成ツールや公開環境も充実

- ・整備：西沢ツール、見える化共通入力フォーマット、その筋屋 etc.
データチェックを円滑にする有志作成ツール
- ・提供：公共交通オープンデータセンター(ODPT)、GTFSデータレポジトリ※ etc

⇒自主的に無償でデータ整備・提供を行える環境が整っている

※大島バスでは、更新は事業者実施を念頭に、無償ツールの「見える化共通入力フォーマット」(公共交通利用促進ネットワーク)によりデータ整備、ODPTでオープン化(2023/3現在)

1. システムからのデータ出力	2. データ作成代行事業者へ委託		
<p>ダイヤ編成システム 静的データの出力に対応しているシステムがあります</p> <p>バスロケシステム 動的データ、静的データの出力に対応しているシステムがあります</p>	<p>経路検索事業者(CP) 検索サービスへの取込だけでなくデータ提供が可能な場合があります</p> <p>IT企業等 経路検索事業者以外にもデータ作成を行っている事業者があります</p>		
3. 無償ツールを活用した自力整備			
<p>その筋屋：バス運行業務全般をIT化する場合に向いています</p>  <p>西沢ツール：GTFS-JPデータの作成に特化し比較的簡易に導入できます</p> 			
データ提供	オープンデータ	経路検索サービス	デジタルサイネージ等

「見える化共通入力フォーマット」

人が見て理解できる 入力できるフォーマット

No.	停留所名	停留所名称(ロー)	停留所名称(英語)	停留所名称(ロー)	停留所名称(英語)	経度	緯度
1	1011	市役所	しやしよ	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
2	1012	市役所	しやしよ	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
3	1021	市役所東	しやしよひがし	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
4	1022	市役所東	しやしよひがし	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
5	1031	駅前	しみえき	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
6	1041	みえ駅西口	みええきにしぐち	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
7	1042	みえ駅西口	みええきにしぐち	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
8	1043	みえ駅西口	みええきにしぐち	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
9	1044	みえ駅西口	みええきにしぐち	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
10	1061	光が丘	ひかりがおか	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
11	1062	光が丘	ひかりがおか	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
12	1071	一徹町	いちてっぽうちょう	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
13	1072	一徹町	いちてっぽうちょう	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
14	1081	公団住宅前	こうだんていしゃくまえ	〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx
15				〇〇市役所	〇〇市役所	136.5xxxxxx	34.6xxxxxx

「日数」		平日		平日		平日		平日		平日		平日		平日		平日	
市役所	1011	2.2	2.2														
みえ駅西口	1041	1.1	1.1														
光が丘	1061	1.1	1.1														
一徹町	1071	1.1	1.1														
公団住宅前	1081	0.8	0.8														

このシートの上半分は「日数」 下半分は「経路」になっています。
停留所名を記入すると、停留所番号が自動的に入力されます。

Excelファイル

出典：国土交通省「標準的なバス情報フォーマット」ダイジェスト

出典：見える化共通入力フォーマット解説書 基本編

※GTFSデータレポジトリ：(一社) 日本バス情報協会協力のもと、(一社) 社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)が開発、国土交通データプラットフォームとシステム連携

補足：GTFS-JPデータ整備の意義

●参考：運行事業者目線での将来的なメリット？ ⇒事業申請への活用【現在検討中】

- 第7回 内閣府 規制改革推進会議(R3.12)において、旅客自動車運送事業における申請に際しての電子化 + GTFS-JP活用が提案
⇒規制改革実施計画への明記、国土交通省関係局での予算化措置
- 今年度「バス事業者の許可申請等におけるGTFS-JP活用の実務者協議会」が開催されている模様※（開催状況は非公開…）

※東大 伊藤准教授 Xポストより
（⇒国交省「標準的なバス情報フォーマット」制定・活用・更新に係る各種検討会で座長等を歴任）

規制改革実施計画 (令和4年6月閣議決定)

(4) MaaS 推進も見据えたバス事業者の申請のオンライン化及びGTFS-JPの普及・促進

No.	事項名	規制改革の内容	実施時期	所管府省
9	MaaS 推進も見据えたバス事業者の申請のオンライン化及びGTFS-JPの普及・促進	<p>a 国土交通省は、バス事業に係る許可申請のオンライン化に向け、バス事業者（一般旅客自動車運送事業者）の申請作業及び受理に係る地方運輸局の業務の簡素化（BPR）を実現するための工程表を定めるとともに、バス事業者が国土交通省に対して書面で行っている許可申請と事業計画の変更申請について、GTFS-JP（General Transit Feed Specification Japan：標準的なバス情報フォーマット）の活用可能性を検討する。</p> <p>b 国土交通省は、MaaS（Mobility as a Service）推進も見据え、GTFS-JPの果たす役割が大きいことに鑑み、その普及が進んでいる地域における取組などから得られる知見について、引き続き地方公共団体やバス事業者に広く周知する。</p>	<p>a：工程表は措置済み、GTFS-JPの活用可能性に関しては令和4年度検討・結論</p> <p>b：令和4年度措置</p>	国土交通省

令和5年度 自動車局関係予算概要

